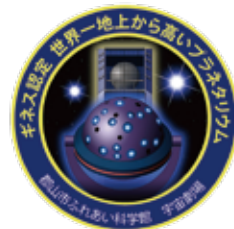


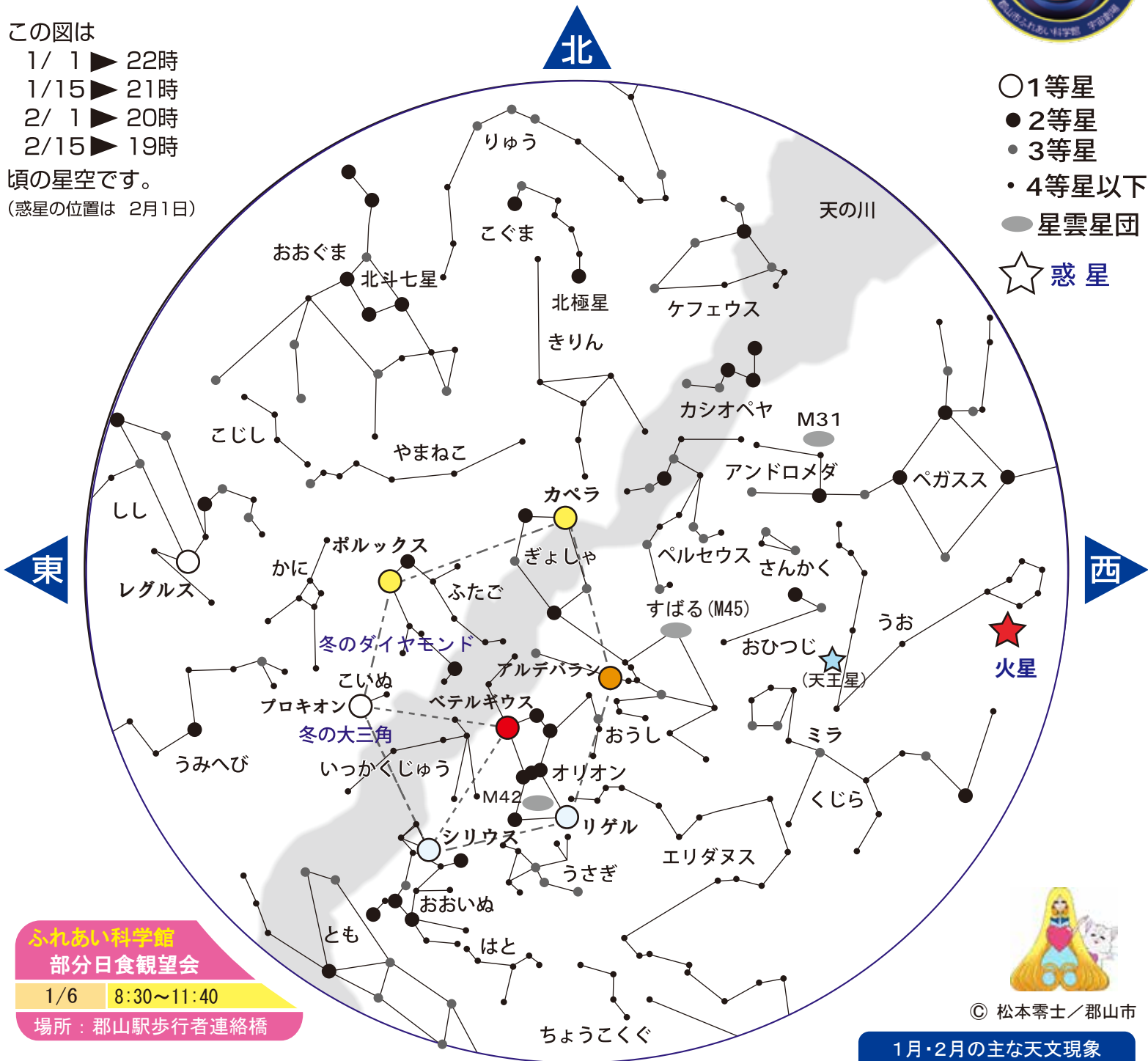
2019年

1月▶2月の星空



この図は
 1/ 1 ▶ 22時
 1/15 ▶ 21時
 2/ 1 ▶ 20時
 2/15 ▶ 19時
 頃の星空です。
 (惑星の位置は 2月1日)

- 1等星
- 2等星
- 3等星
- 4等星以下
- 星雲星団
- ☆惑星



ふれあい科学館
 部分日食観望会

1/6 8:30~11:40

場所：郡山駅歩行者連絡橋



© 松本零士/郡山市

郡山の日の出、日入		
1/ 1	6:52	16:31
1/15	6:52	16:44
2/ 1	6:42	17:02
2/15	6:28	17:18

月の満ち欠け		
新月	1/ 6, 2/ 5	
上弦	1/14, 2/13	
満月	1/21, 2/20	
下弦	1/28, 2/26	

※上弦、下弦は半月です。
 ※天王星は肉眼では見えません。

1月・2月の主な天文現象

1/ 4	しぶんぎ座流星群極大
1/ 6	部分日食
1/ 6	金星西方最大離角
2/19	金星と土星が接近

2019年は初めから目玉となる天文現象があります。最初は1月4日の「しぶんぎ座流星群」です。この流星群は夏のペルセウス座流星群・冬のふたご座流星群に並ぶ三大流星群の1つです。他の流星群に比べて極大となっている時間が短いのが特徴です。今回は、月明かりがなく観測条件は良いですが、極大の時刻が4日11時ごろとなっているため極大を前に空が明るくなってしまう可能性があります。夜明け前から北天を仰ぎ見るようにして楽しみましょう。次が1月6日の「部分日食」です。今回は、午前8時44分ごろから太陽が欠け始め、10時08分ごろに最大を迎えます。刻々と姿を変えていく太陽に注目してみましょう。ただし、太陽を直接見ることは大変危険です。当館でも観望会を開催しますので、安全な方法で楽しみましょう。また、2019年は12月26日にもう一度部分日食が見られますのでお楽しみに。2月19日には、明け方の南東の空で金星と土星が今にもくつつきそうなほどに大接近している様子が見られます。両惑星の間隔は1.1度ほどなっていますので、腕を伸ばして小指を立てると2つが隠れてしまうほどです。



日食について

日食は図1のように太陽が月によって隠される現象です。今回見られる日食は「部分日食」という太陽の一部だけが欠けていくものです。

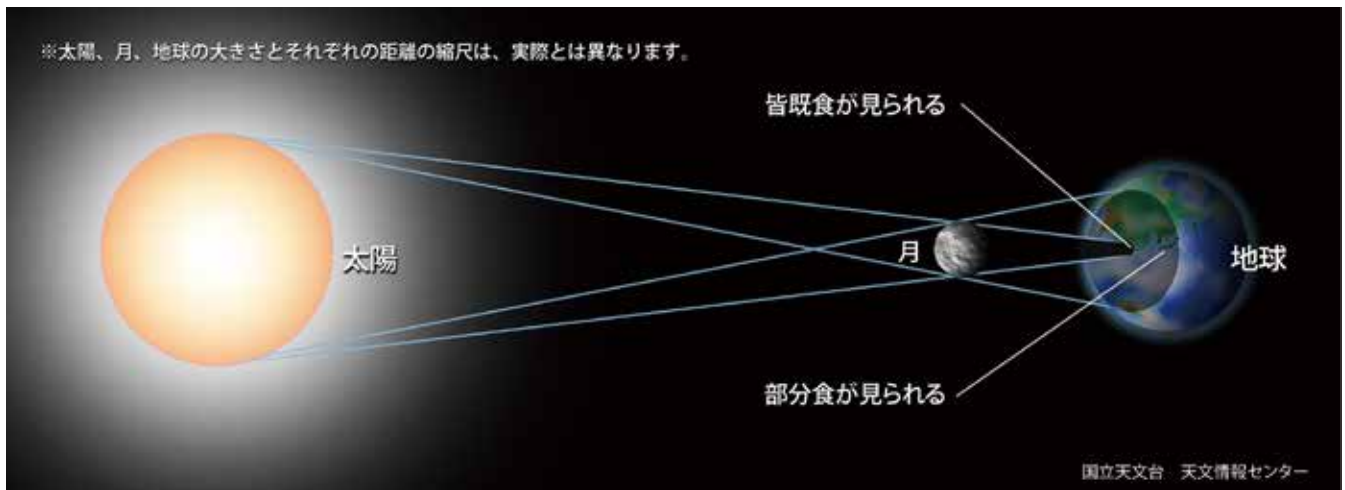


図1. 日食のしくみ

日食の見え方

日食時の欠け方の度合い（食分）は見る場所によって異なりますが、今回は福島県内で0.46程度（図2）となります。1月6日の午前8時44分ごろから欠け始め、10時08分ごろに食の最大となります。そして、少しずつ戻っていき11時40分に終了となります。

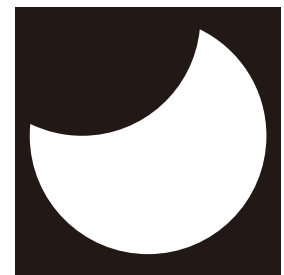


図2. 日食時のイメージ

安全に観察するために

欠けていても太陽の光は極めて強いものです。直接見ることは絶対にしないでください。また、サングラスや黒い下敷きなども太陽の有害な光を遮断することができないため絶対に使用しないでください。

安全に楽しむ方法

- ・ 太陽投影板を使う
- ・ 日食グラスを使う
- ・ 木漏れ日を見る
- ・ 鏡で反射させる
- ・ ピンホール（小さな穴）をあけたものをかざす

など

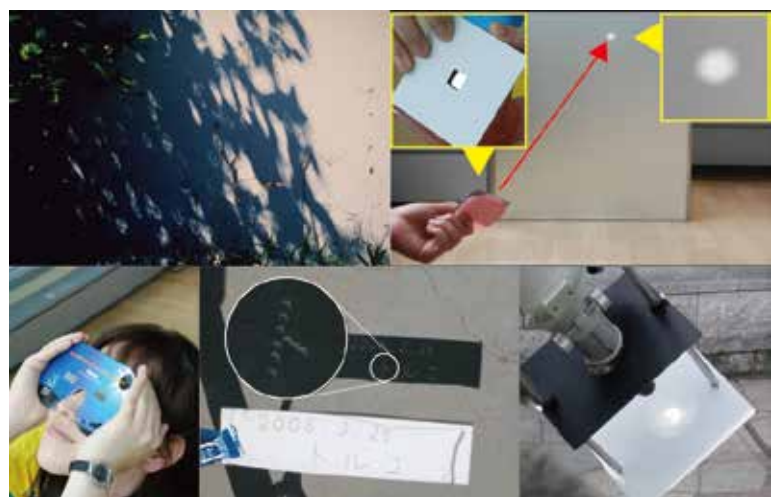


図3. 日食の観察方法